

岩手・宮城内陸地震に係る荒砥沢地すべり対策と大規模地すべり
により出現した地形・景観の活用に関する検討会 第2回検討会

日時：平成21年10月7日(水)

13:30～17:00

場所：宮城県栗原市 ホテルエポカ

議事次第

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 座長挨拶
4. 議題
 - (1) 現地調査結果(地すべり発生から1年後の現況)

(2) 拡大崩壊の危険度評価と頭部排土工の効果等

* 討議
 - (3) 利活用に向けての事例紹介等
 - ① 海外におけるジオパーク事例(ジオ・エコパークへの提案)
 - ② 防災教育の場としての利活用について

* 討議

岩手・宮城内陸地震に係る荒砥沢地すべり対策と大規模地すべりに
より出現した地形・景観の活用に関する検討会の構成とスケジュール

《検討会委員》

井良沢道也（岩手大学農学部准教授）
金澤 大樹（栗原市・耕英地区区長）
佐藤 勇（栗原市長）
中静 透（東北大学大学院生命科学研究科教授）
松浦 純生（独立行政法人森林総合研究所水土保持研究領域長）
宮城 豊彦（東北学院大学教養学部教授）（座長） ※以上五十音順
石田 祐二（東北森林管理局森林整備部長）

《オブザーバー》

社団法人日本地すべり学会東北支部、宮城県
農林水産省東北農政局（荒砥沢ダム管理者）

《事務局》

林野庁東北森林管理局

《スケジュール》

8月（第1回）、10月（今回）、11月、12月